



豊白区 自治会の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

2月19日 豊白区の皆さん11名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。

日本原子力研究開発機構J-PARCセンターの施設を見学し、安全対策や研究に関する活発な議論が行われました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業所・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実及び原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

平成25年5月に発生したハドロン実験施設からの放射性物質の漏えい事故に対する再発防止の安全対策、J-PARCで行われている最先端の研究について、現場見学を含め、活発な質疑応答が行われました。

見学会では、利用開始に向けた準備が進むハドロン実験施設、量子ビームを使って様々な実験を行っている物質・生命科学実験施設、昨年画期的な成果をあげたニュートリノ実験施設を見学しました。

J-PARCの安全対策への質問や防災原子力安全課への要望が出されました。

なお、懇談会には、環境省原子力規制委員会東海・大洗原子力規制事務所の事務所長も同席していただきました。



<豊白区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成27年2月19日（木）13時00分～16時45分

見学会 13時20分～16時10分

いばらき量子ビーム研究センター内会議室で概要説明

現場見学

ハドロン実験施設

物質・生命科学実験施設（MLF）

ニュートリノ実験施設

懇談会 16時15分～16時45分

いばらき量子ビーム研究センター内 会議室